

韓国における 大学博物館の現況と役割

金 花子 (神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科
歴史民俗資料学専攻・後期博士課程)

韓国における大学博物館の活動は、1934年高麗大学校博物館の設立を筆頭に、1935年梨花女子大学校博物館が民俗資料を中心に遺物を収集・展示したことから始まった。その後、国の経済的發展に後押しされ1961年「韓国大学博物館協会」が結成され、さらに1967年改正された統合大学校における「大学設置基準令の義務的設置」の規定により大学博物館は数的にも質的にも急激な成長を見せ始める。

そこで、本稿においては「韓国大学博物館協会」が何回かに亘って行ってきた学術発表会の資料などを基に韓国における大学博物館の現況を踏まえながらその役割について要点を検討してみたいと思う。

今日における韓国の大学博物館の数は国・公立博物館より多く、私立博物館を含む韓国全体の300余りの博物館の中で、約25%を占めている。その上、各地方の大学には専門的特性を活かした大学博物館も多い。これは他の先進国に比べ国・公立博物館の数が絶対的に不足している韓国の実情を考えると、その役割を十分に補い代行できる韓国の大学博物館の持つ潜在力が窺えるものである。現在、韓国の大学博物館は「韓国大学博物館協会」に加入している会員校だけでも90大学(2004年8月現在)にのぼっており、まだ登録していない大学まで数えると更にその数は増える。

今日まで韓国の大学博物館は、国立博物館が設置される以前から全国の各地域に分布している地理的利点を最大限活用し、国家主導の経済發展と急速な産業化の過程で主導的に文化遺産の調査と発掘に積極的に参与してきた。その結果、韓国の文化遺産の保護に大きく貢献し、さらに今日においてはその学術的研究機能と研究人材の力を發展・向上させ韓国の文化發展に多大な影響を及ぼしたことは言うまでもない。

しかし、多くの大学博物館は一般的に考古学的調査・研究のみに集中してきた傾向があり、展示や社会教育のような大学博物館が持つべき本来の教育的機能に関しては疎かであったため、むしろ大学博物館という教育機関

としての役割は調査・研究機能より非常に遅れている状況である。

このような状況において、韓国の大学博物館が遂行しているその特有の機能と役割について纏めてみた。

- ① 大学生達に韓国の歴史と文化について実物を通し教育する本格的な伝統文化教育機関である。
- ② 大学博物館の数が多く、また全国各地に平均して分布している特性のため、実際、国・公立博物館がない地域においては大学博物館がその機能を代行し、公的な社会教育機関としてその役割を遂行している。
- ③ 全国各地の遺跡を活発に調査し当該地域の資料を蓄積・保管することは勿論、研究報告書、展示目録などの研究書籍を多く刊行しており、実質的には地域文化研究の中核的な役割を担っている。
- ④ これらの資料を基に特色のある博物館を運営し、地域住民のための講座を開設するなど社会教育機関としても機能している。
- ⑤ 専門研究者の養成のため実質的教育及び実習機関の役割を担っており、博物館、研究所など関連機関に研究者を送り出す専門家の供給機関としてその役割を果たしている。
- ⑥ 各地域の文化遺産の保存・保護活動を最前線で主導的に行なっている。

このような一連の活動や役割は他の関連機関が遂行できない大学博物館ならではの独特な役割であると言える。しかし大学博物館本来の教育機関としての役割をより着実に果たすためには克服しなければならない多くの問題が山積している。

韓国の大学博物館は大学が存在している立地条件によって、その活動の状況を根拠とし大きく2つに分けられる。それは遺跡の発掘調査を中心とする地方大学の博物館と主に所蔵している遺物の展示・保管に重点を置くソウル所在の大学博物館に分かれている状況である。そのため、実際にはその両方の役割をうまく並行して合理的に運営している博物館はそれほど多くないのが実情である。こ

のように大学博物館の教育的役割が不振である原因としては、1982年からの調査資料⁽²⁾によると、対外的には施設の不備、予算や学芸員の絶対的不足が挙げられており、また内部的には博物館従事者の勤労意欲の不足や専門性の欠如などが重要な要因として指摘されている。

1982年12月大学博物館の法的設置の理由がなくなり、最近、各地域に専門的な発掘調査機関や財団が多く設立されたため、今まで大学博物館が遺跡の発掘調査において主に担ってきたその中心的役割も徐々に縮小されつつある。これは韓国の大学博物館が、既存の発掘報告書の発刊などの単純な資料蓄積、単純な収集・研究・展示などの機能から脱皮し教育機関としての本来の役割に戻り、教育的学術目的の計画発掘・研究に進むべき時期を迎えたと考えられる。

したがって、韓国の大学博物館におけるその役割と機能も時代の必要性に相應する新たな博物館の総合化を目指してその方向を模索すべきであると思う。

(1)

韓国の博物館数：「韓国博物館協会」の登録数（2003年12月現在）

種類	国立博物館	公立博物館	私立博物館	大学博物館
博物館数	30	55	119	90

※大学博物館数は「韓国大学博物館協会」の登録数である（2004年8月現在）。

(2) 鄭真鳳「大学博物館の現況と展望」『古文化』46、1995年

参考資料

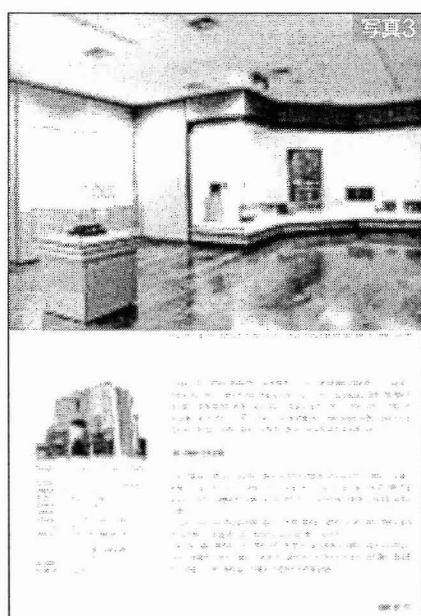
- 李 ボア『博物館学概論』、ソウル金英社、2000年
- 韓国大学博物館協会『古文化』52、1998年
- 韓国大学博物館協会『古文化』57、2001年
- 韓国大学博物館協会『古文化』58、2001年
- 韓国『美術世界』201号、2001年



慶星大学校博物館（釜山）の発掘光景（1988.12）
発掘場所：釜山市蓮山洞の高塚古墳群



高麗大学校博物館（ソウル）、朝鮮時代のミイラ（1566年代推定）の発掘光景（2002.9）
発掘場所：景畿道坡州市交河邑堂下里



韓陽大学校博物館（ソウル）の外部・内部の全景（2003.7）



韓陽大学校博物館の体験学習、「博物館遺跡踏査会」（2003.11）